

令和6年度実施（令和5年度分）監査総括意見の要旨

1. 健全化に関する報告

令和6年度に実施した奥多摩町における令和5年度分の一般会計、都民の森管理運営事業特別会計、山のふるさと村管理運営事業特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計、同じく、令和6年度に実施した令和5年度分の奥多摩町国民健康保険病院事業会計、決算である。審査結果だが、令和6年度に実施した令和5年度分の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証票類とも照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も、適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。財政の健全化に関する法律に係る審査についても、健全化判断比率、資金不足比率ともに良好であった。

2. 代表監査の総括意見

令和5年度においては新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行されるとともに徐々にコロナ禍前とほぼ同様の社会生活が営まれる事となった。

奥多摩町においてもコロナ禍前のようにイベントが再開されるようになり、その様な状況下の中で「第5期奥多摩町長期総合計画」に基づいて策定された令和5年度予算が計画的に執行された。

令和5年度決算における歳入は73億4,118万9千円であり、そのうち自主財源の大部分を占める町税は6億6,260万1千円で歳入総額に占める割合は9.0%であった。前年度と比較しても2,134万4千円の減額となり依然として地方交付税や都支出金に大きく依存する状態となっている状況に奥多摩町の監査という立場からも危機感を感じざるを得ない。

奥多摩町の活力の源となる人口においては依然として減少と少子高齢化の傾向が続いており、特に留意しなければならないのは15歳から64歳までの人口いわゆる「生産年齢人口」が数年前より確実に減少し続けている事である。令和5年度は前年度と比較して86人の生産年齢人口が減少している。今後このような状況が続いてしまうと労働力及び生産力の不足並びに町内需要の減少、そしてそれらが結果としてもたらす事であろう奥多摩町の活力と税収の減少という課題が更に深刻化するものと思われる。

また、国民健康保険特別会計の国保財政健全化計画（赤字解消計画）について早い段階で対応し、高齢化に伴う医療費の増加に備えるべきである。更に病院事業会計においても医業収益で医業費用がまかないきれない経営状態を脱却し経営の健全化を図っていくべきであると考えます。

令和5年度では自主財源の少なさや人口減少、その他のネガティブ面だけでなくポジティブな側面も当然ながら多くある。令和5年度では4年ぶりに納涼花火大会や奥多摩セラピーウォーク、その他のイベントが盛大に開催されるようになった。それらのイベントを通して奥多摩町の魅力を町外に広く発信する機会が増えた事は大変喜ばしい事である。更に令和5年度では新たに沿線まると株式会社の事業拠点Satologue（さとログ）のレストラン棟とサウナ棟の開業、VERTERE（バテレ）の新工場完成、多摩大学との連携事業である多機能型地域活性化拠点「奥多摩AUBA（アウバ）」のオープンも奥多摩町の魅力発信基地とし

て大きな武器となり得る事と思われる。是非ともこれらのコンテンツを上手に活かして魅力を存分に発揮し、奥多摩町の活性化に繋げていただきたいと思う。

奥多摩町の魅力発信から更なる観光客の増加が見込まれる事となり、それらが結果としてもたらす観光ゴミの問題についても懸念事項として挙げられる。ただし、それらに対しては新たな取り組みとしてドローンによる啓発活動や従来からの観光客専用ゴミ袋の有料販売等で抜かりなく準備は整っているものと思われる。

少子化・定住化対策事業では令和6年3月31日現在における奥多摩町の人口4,576人のうち定住対策関係人口は596人で総人口の13.0%にもなり、担当職員の努力がしっかりと実を結んでいるものと思われる。引き続き定住化対策事業により更なる増加を期待する。

農林水産業では獣害対策等の難しい面もあると思うが獣害に強い畑作りを推進していただきたい。奥多摩町の農産物の中でブランド化されるべき治助イモの生産量については前年度より落ち込んでしまった事が残念ではあるが、来年度以降もそのブランド化の為に引き続き注力願いたい。

令和6年度以降も多額の起債償還、老朽化施設や設備の修繕、道路や橋梁等のインフラ、新庁舎の建設等、多額の資金が必要であると見込まれる。それらの支出に対して優先順位をしっかりと付けて見直しや再構築も視野に入れた適切な財政運営を行っていただきたい。

以上、奥多摩町の課題である少子高齢化及び人口減少並びに財政の観点から総括させていただいたが、細かな支出面においても例月出納検査を通じて事務処理方法、各支出における妥当性の評価、事故防止等の観点から引き続き監査を行っていく。

最後に理事者及び管理職の皆様、そして奥多摩町のため、更には奥多摩町に住まわれている全ての方達のためにより良い行政サービスを提供するため、現場で一生懸命働かれている奥多摩町職員皆様のご尽力に感謝申し上げます。